



稲穂通信別冊

# 好き勝手語録!!

普通のことを言うときが来た。

Vol. 3  
政治家編



---

どれだけすごいことを知っていても

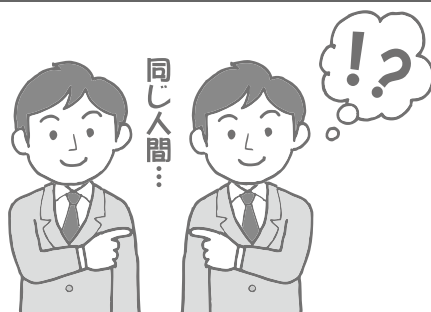
---

同じ人間だということです。

---



No.300  
Mori Hisayuki



---

30年も経ってそうだったかとおもうことがある。

---

---



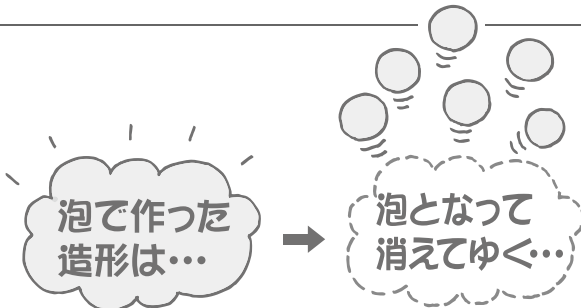
No.301  
Mori Hisayuki

大空に空飛ぶ自治体出来上がる。



No.302  
Mori Hisayuki

雄大な雲の造形泡となる。



No.303  
Mori Hisayuki



百姓一揆起こらぬように年貢取り。



No. 304  
Mori Hisayuki



少しの融通と真っ当な本質。

融通



No. 305  
Mori Hisayuki

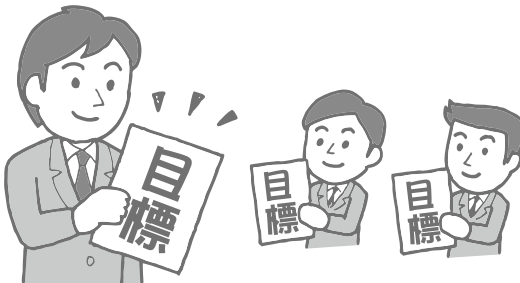
優等生の話になっている。

優等生ばかりじゃないのに。



No.306  
Mori Hisayuki

人の立てた目標より自分で立てた目標。



No.307  
Mori Hisayuki



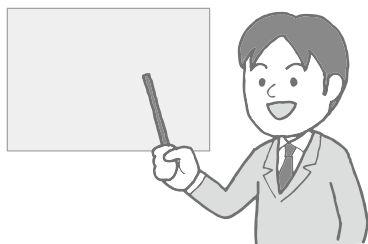
ひとを変えるんじゃない、自分が変わるんだ。



No.308  
Mori Hisayuki



意識をしなければ記憶に残らない。



意識=記憶



No.309  
Mori Hisayuki

作務は自分の心を磨きます。

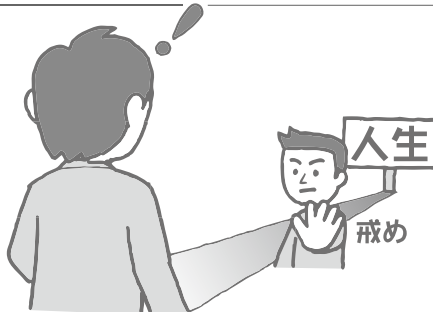
垢がたまらないために。

No.310  
Mori Hisayuki



自分を戒めるものがなくなったら

人生を終わりにしようとおもっている。



No.311  
Mori Hisayuki



上手く生きていくなら一旦引き下がるのもいい。

上がる道はいくらでもある。



No.312  
Mori Hisayuki



それではチェックできないでしょう。

今のあなたには。

**CHECK**

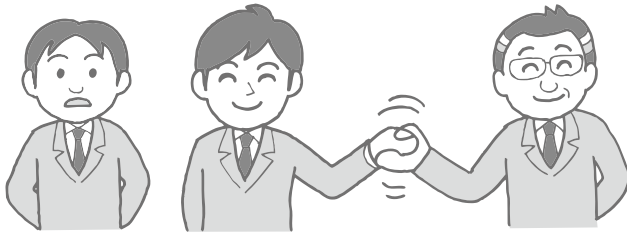


No.313  
Mori Hisayuki



遠くて近い人、近くて遠い人。

No.314  
Mori Hisayuki



近いけど… 遠いけど…

努力する姿を見せて言い訳す。



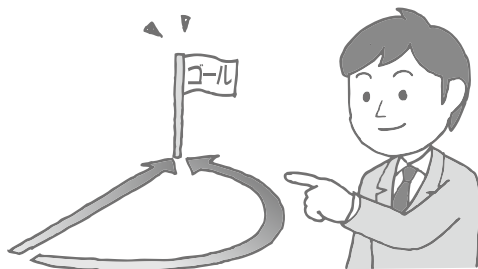
No.315  
Mori Hisayuki



遠回りしたけれど遠いとおもったことはない。



No.316  
Mori Hisayuki



ことばにできないことばがある。



何が言いました？



No.317  
Mori Hisayuki

学力を楽力としている。



No.318  
Mori Hisayuki

経験してわかったことは

経験していなかった頃はわからなかった。



No.319  
Mori Hisayuki



不公平だとおもうと事は運ばない。

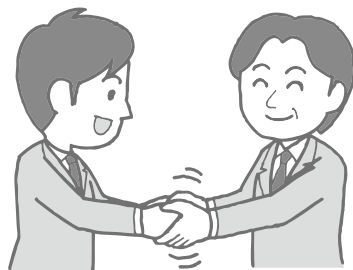


No.320  
Mori Hisayuki



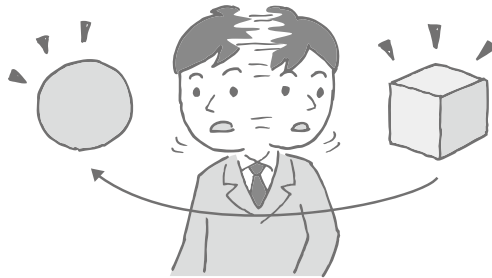
自分に接してもらった態度で

相手のことがわかるはずである。



No.321  
Mori Hisayuki

あれっ、突然形を変えましたね。



No.322  
Mori Hisayuki

ガチンコは落としどころがある場合にどうぞ。



No.323  
Mori Hisayuki



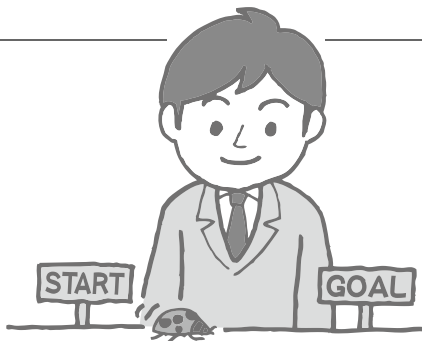
失敗になぜだというほど野暮はない。



No.324  
Mori Hisayuki



立ち止まりてんとう虫の渡り待つ。



No.325  
Mori Hisayuki

羊の皮を被ったオオカミ。

内に秘めたる力をもつ羊か

それとも豹変するオオカミか、さて見ものである。

No.326  
Mori Hisayuki



出番が来れば最善を尽くしあっさりと身を引く。

これ自然の極意なり。

最善を尽くした  
後は……



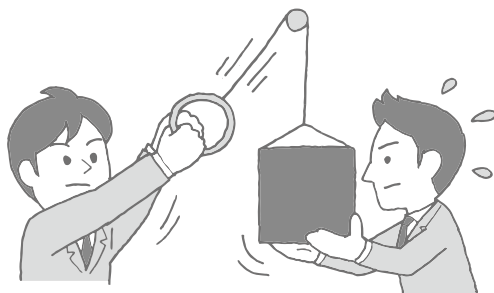
No.327  
Mori Hisayuki



力になろうとおもって力をもらうことがある。

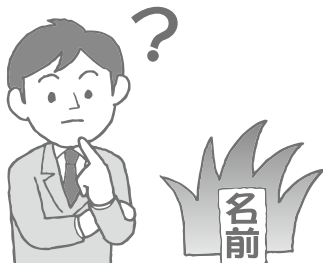


No.328  
Mori Hisayuki



教えてもらった、

雑草は草でありながら名前と呼ばれない。



No.329  
Mori Hisayuki



口調が鍵を握るはずである。



No.330  
Mori Hisayuki

窮地に本領を発揮する。

それが実力である。

窮地にひらめき！



No.331  
Mori Hisayuki



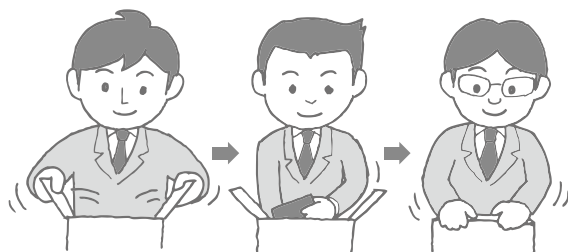
説明に正確を期す。



No.332  
Mori Hisayuki



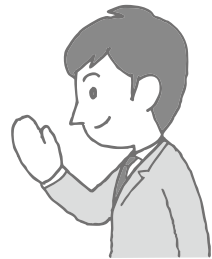
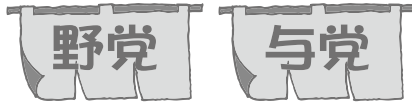
おっと流れ作業ですか。



No.333  
Mori Hisayuki

与党の力あなたはどこに属しますか。

No.334  
Mori Hisayuki



ええい、うっぶん晴らしと申します。

それは  
うっぶん晴らし...

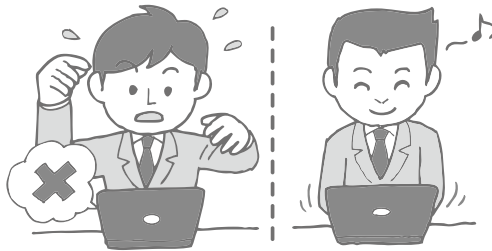


No.335  
Mori Hisayuki



自分に起こっていることは他人にはわからない。

他人にはわからない…



No.336  
Mori Hisayuki



誘導は意図が見えずに隠れてる。



No.337  
Mori Hisayuki

ちょっと遅かったなあも出番です。

No.338  
Mori Hisayuki



机は本棚にあらず。



No.339  
Mori Hisayuki



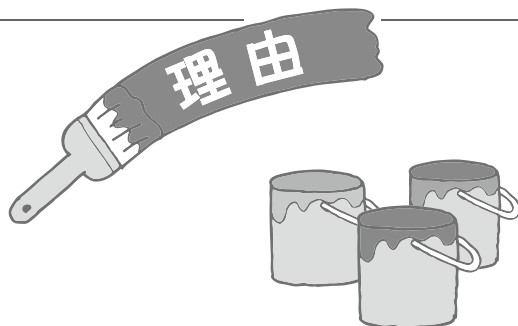
支持してこそ支持される。



No.340  
Mori Hisayuki



なぜこの色になったかは理由がある。

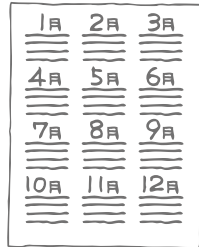


No.341  
Mori Hisayuki

一年の計は今ここにあり。

No.342  
Mori Hisayuki

今年こそ  
一年の計



この間はありがとうございました。何のお礼だっけ。

ありがとう  
ございました



No.343  
Mori Hisayuki



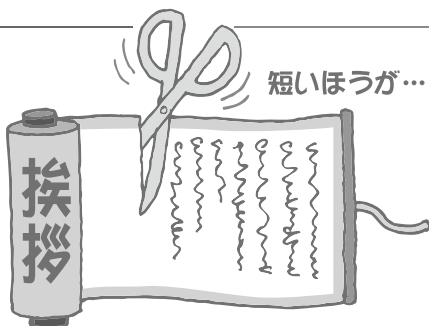
支持者という規定はない。



No.344  
Mori Hisayuki



少し長くなりましたが短いほうがいい。

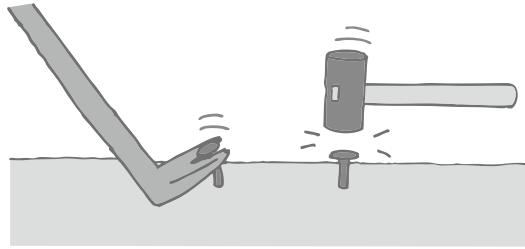


No.345  
Mori Hisayuki



それぞれ違う形で役に立っている。

No.346  
Mori Hisayuki



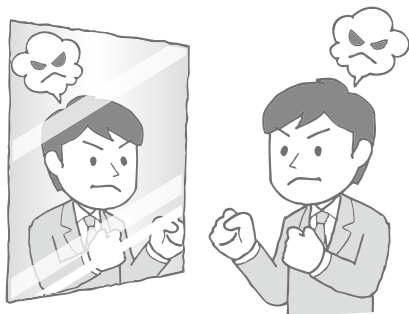
挫折して開ける道はある。



No.347  
Mori Hisayuki



腹が立つ自分に腹が立っている。



No.348

Mori Hisayuki



誰の話聞いても感じることはある。



No.349

Mori Hisayuki

今 100 円しかないより 100 円あるということ。



No.350  
Mori Hisayuki

たくさんのひとが

それぞれの軌跡を描いて生きている。



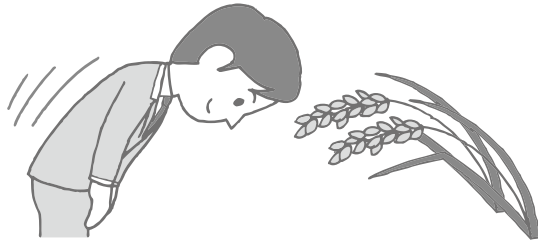
No.351  
Mori Hisayuki



垂れている稲穂にむいておじぎする。



No.352  
Mori Hisayuki



ことばの要らない力とことばによる力。対決です。



No.353  
Mori Hisayuki

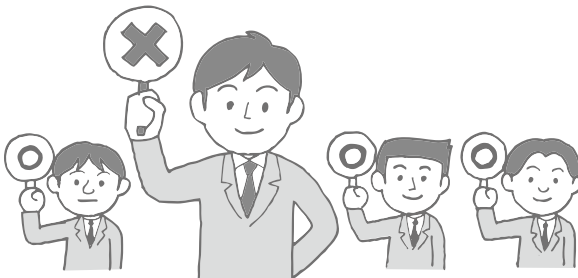
若いときはこうでないといけないとおもっていた。



No.354  
Mori Hisayuki

自分が決めた答えであって、

相手に求めるものはない。



No.355  
Mori Hisayuki



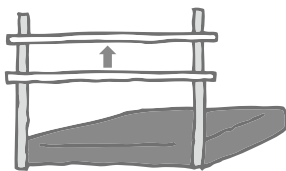
今よりも一つ厳しい場所を選ぶ。



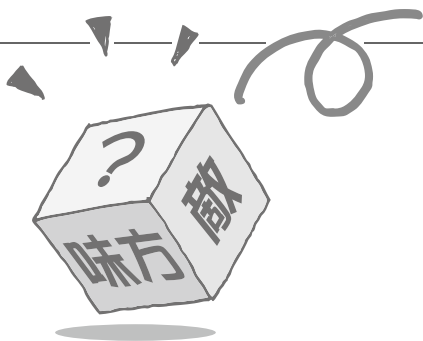
No. 356  
Mori Hisayuki



一つ厳しく...



味方でも敵でもない。



No. 357  
Mori Hisayuki

自信を持っていいよ、

それがあなたのスタイルだから。

No.358  
Mori Hisayuki



流行った分だけすたるなら流行りすたりもない。

流行り  
すたりは  
ありません



流行  
おくれ?



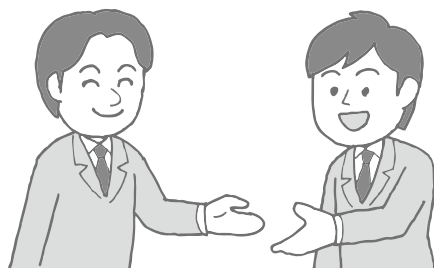
No.359  
Mori Hisayuki



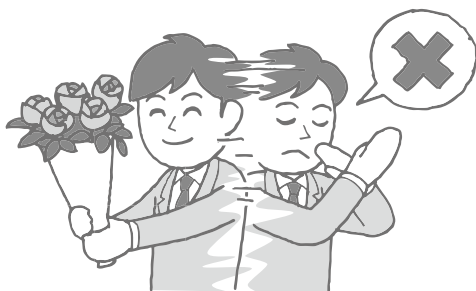
心配はするな理屈なしで最後はお前の味方。



No.360  
Mori Hisayuki



好き嫌いの力は絶大です。

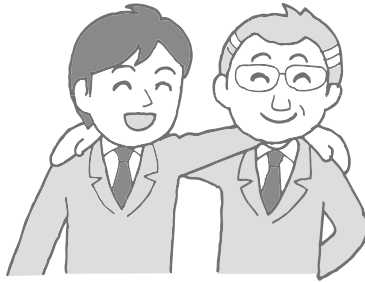


No.361  
Mori Hisayuki



老いも若いも人が通る道であるが、  
同じ時代に共存する凄さがある。

No.362  
Mori Hisayuki



傷つくばかりじゃ心も逃げていく。



No.363  
Mori Hisayuki



かたちができてこそそのなかみである。



No.364  
Mori Hisayuki



紹介があるなら出席します。



紹介があれば  
参加するけど…

No.365  
Mori Hisayuki

言われたからと自分が決めたこと。

言われたから…



自分で  
決めたいんだろ!



No.366  
Mori Hisayuki

不足する時代はそこまで押し寄せて。

足りない…



No.367  
Mori Hisayuki



議員の力じゃなくあなた本人の実力です。



No.368  
Mori Hisayuki

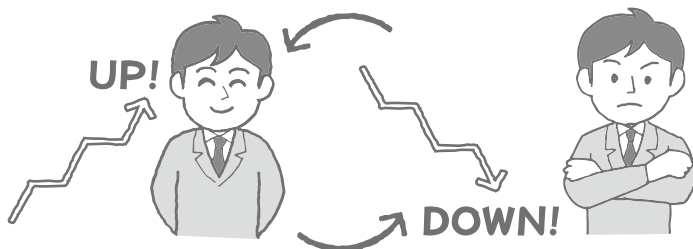


自分の実力!



いえいえ

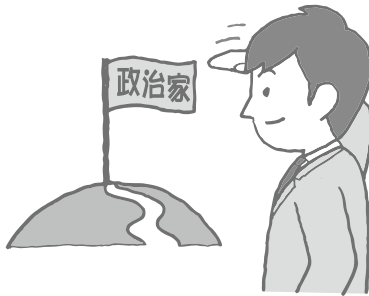
咲き始め順番を待つ枯れ始め。



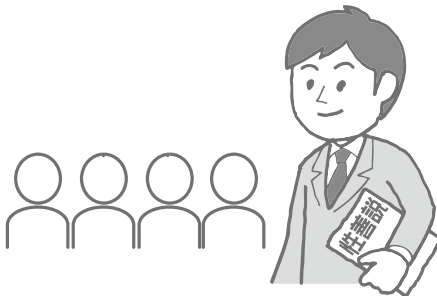
No.369  
Mori Hisayuki

政治家はこういうものだといふところまでは、  
まだまだかかりそうである。

No.370  
Mori Hisayuki



能力を発揮せず、横にらみでセーブしながら、  
性善説に立って働いている。



No.371  
Mori Hisayuki

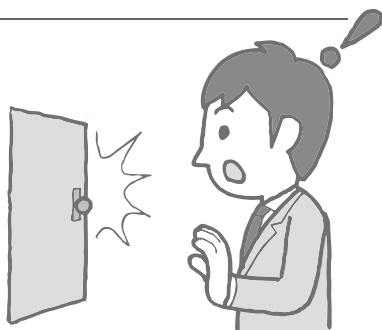


突然におもいもよらぬ閉ざし方。



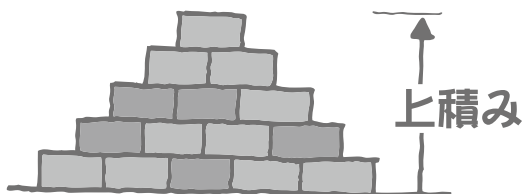
No.372

Mori Hisayuki



最近は言われなくなった下積みと。

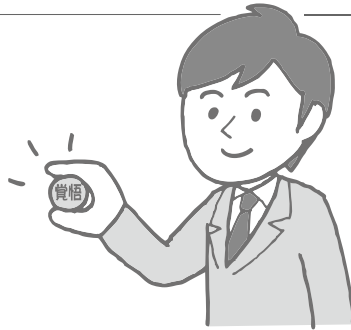
その上に上積みが始まる。



No.373

Mori Hisayuki

ちっぽけさ覚悟を決めたそのことに。



No.374  
Mori Hisayuki

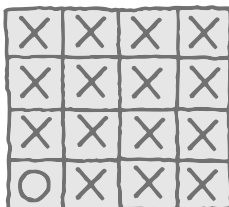
本当の理由でないことが理由になっている。



No.375  
Mori Hisayuki



すべてがなくなることはない。



No.376  
Mori Hisayuki



みんな声をあわせてあなたしかいないよと。

応援

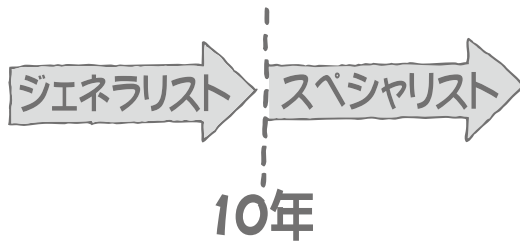


No.377  
Mori Hisayuki



ジェネラリスト 10年、

スペシャリスト 11年目からという。



No.378  
Mori Hisayuki

得にもならないことを積みあげる。人徳。

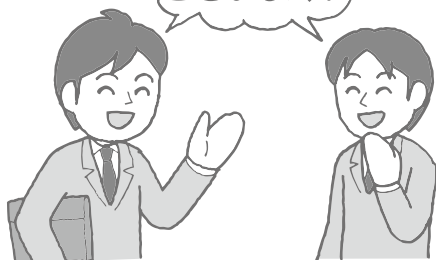


No.379  
Mori Hisayuki



普通のことを幸せと感じるかどうかである。

おはよう  
ございます!



No.380  
Mori Hisayuki



真実が表に出ないことを知る。



No.381  
Mori Hisayuki

政治家は騙されるほうが悪いらしい。

No.382  
Mori Hisayuki



委ねるは意思を放棄することである。

ただ香ねて  
しまうと... 違う!



No.383  
Mori Hisayuki



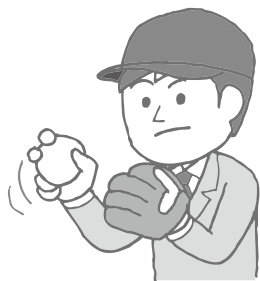
空の色おもいもよらぬ強敵に。



No.384  
Mori Hisayuki



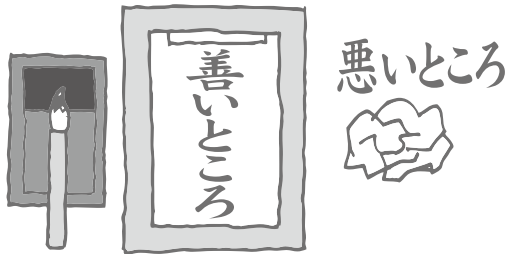
ワンポイントリリーフと割り切りますか。



今だけ…

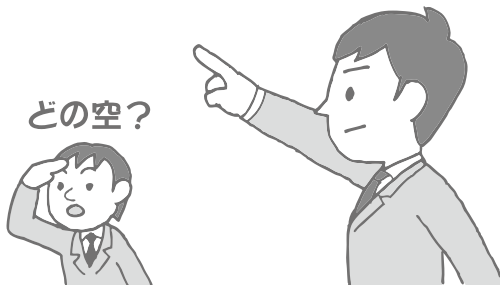
No.385  
Mori Hisayuki

善いところは書いても悪いところは内緒です。



No.386  
Mori Hisayuki

政治家はあの空に向かって進みます。

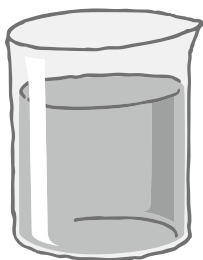


No.387  
Mori Hisayuki



少し不足するぐらいがちょうどいい。

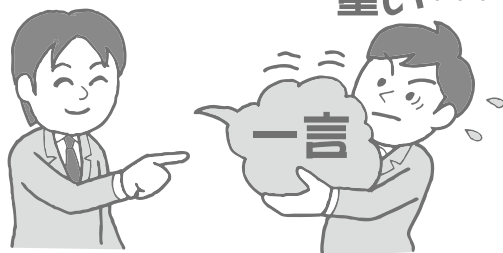
不足



No. 388  
Mori Hisayuki

ひとつだけおもしろいことばをかみしめる。

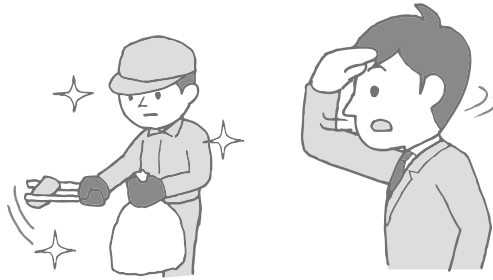
重い...



No. 389  
Mori Hisayuki

見えないところで輝いている人がいる。

No. 390  
Mori Hisayuki



生きるための要素は無限に広がっている。



No. 391  
Mori Hisayuki



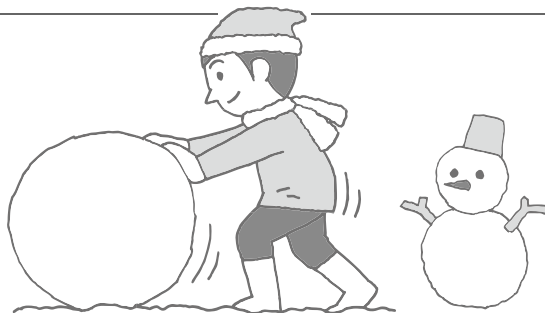
不義理したから不義理しないんだ。



No.392  
Mori Hisayuki



白雪に色をつけての再挑戦。

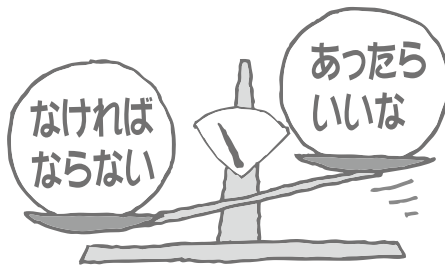


No.393  
Mori Hisayuki



あったらいいなよりなければならぬこと。

No.394  
Mori Hisayuki



消えることなく静かに燃えている。



No.395  
Mori Hisayuki



他の犠牲により成り立つことを得ず。

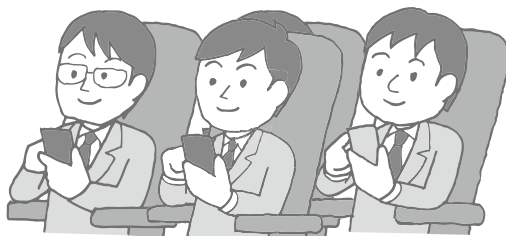
他の人の犠牲の上には…



No.396  
Mori Hisayuki



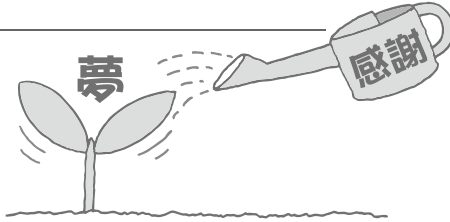
全席スマホ売り切れです。



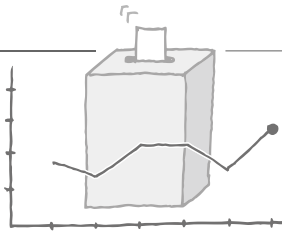
No.397  
Mori Hisayuki

感謝がないと夢は実現しない。

No.398  
Mori Hisayuki



20年先有権者意識が左右する。



No.399  
Mori Hisayuki

《森ひさゆきの見たまま感じたまま》

気をつけなければならないことが3つある。

先生と呼ばれ続けると自分が先生だとおもってしまうこと。

自分のことを自分で表現し続ける仕組みの中にあっては

偏りがみえなくなってしまうこと。

議決権を1票もっているということが

自分の力だとおもってしまうことである。

平成28年7月11日

Hisayuki Mori





稲穂通信別冊

# 好き勝手語録 //

普通のことを言うときが来た。

〒594-1117 和泉市鍛冶屋町344-2

tel.0725-55-3799 fax.0725-55-4288

Mail:info@morihisayuki.com

「好き勝手語録」発行責任者 森ひさゆき

